

民主化闘争情報

No. 985

2018年3月12日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

JR北労組自動車支部は、2月23日付で、ジェイ・アール北海道バスで働く仲間1名を組織拡大、同24日付で同じくバスで働く女性2名を拡大した。今回の拡大も職場での日頃からの世話役活動に取り組んだ成果であり、JR北労組運動の正当性が理解された結果である。

ジェイ・アール北海道バスで働く仲間

女性2名含む3名が新たに加入！
世話役活動・男女平等参画の取り組みの成果

各バス職場で過半数をめざし拡大を進める

ジェイ・アール北海道バスにおけるJR北労組自動車支部の加入拡大の勢いはJR北労組本部大会以降11名を拡大している。連続した拡大によって、各職場の組合役員らの意識も高まっている。着実に組織人員を増やしている状況は、決して一時的なものではなく、JR北労組運動およびJR連合・自動車連絡会の政策実現に向けた取り組みの正当性が、良識ある他労組組合員等にも理解されてきたことの証左でもある。引き続き、JR連合が掲げる「あるべき労働組合像・労使関係像」の実現に向けて、民主化闘争と組織強化・拡大の取り組みを推進していく。

国交省自動車局と意見交換でも

女性運転者確保に資する予算拡充等を求める！

1月29日、JR連合自動車連絡会は、魅力あるバス産業構築のために国土交通省自動車局との意見交換会を実施した。意見交換会では、女性運転者の確保に向けて女性設備の拡充を補助するように、国交省と厚労省が連携した予算措置の拡充を求めるなど行政の積極的関与を強く要請した。

JR連合は、JRバス労働界において、JR連合自動車連絡会の政策課題解決能力を磨き発揮していくことが、組織強化、組織拡大、さらには民主化闘争完遂にも繋がるものと確信し、取り組みを進めていく。

～JR連合自動車連絡会は、JR北労組自動車支部ら加盟単組とともに、組合員・家族のために、政策実現に向けた運動を粘り強く続けていく～